

13:1 たとい、私が人の異言や、御使いの異言で話しても、愛がないなら、やかましいどらや、うるさいシンバルと同じです。

13:2 また、たとい私が預言の賜物を持っており、またあらゆる奥義とあらゆる知識とに通じ、また、山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、何の値うちもありません。

13:3 また、たとい私が持っている物の全部を貧しい人たちに分け与え、また私のからだを焼かれるために渡しても、愛がなければ、何の役にも立ちません。

13:4 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。

13:5 礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、

13:6 不正を喜ばずに真理を喜びます。

13:7 すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。

全ての賜物よりも「まさる」のが愛です。愛がなければあらゆるものが無価値になるとパウロは言っています。もちろんそれは聖霊によって神様が語らしめたもので、神のみこころです。

寛容、親切、自慢せず、高慢にならず、礼儀に反せず、利己的でなく、怒らず、人の悪を思わず、不正ではなく真理を喜び、すべてをがまんし、信じ、期待し、耐え忍ぶ…愛とはそういうものだとありますから、この際に自分をよく省みる必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

